

新年のごあいさつ

清須市長 加藤 静治



明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃は市政の推進にご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

先の市長選挙におきまして、市民の皆様の厳密なご信託を賜り、三たび市政を担わせていただくこととなりました。これまでに築き上げてきた本市の基盤づくりへの歩みを止めることなく、市政運営に傾注してまいりますので、よろしく願いいたします。

昨年を振り返りますと、日本にとって嬉しいニュースがありました。まず、56年ぶりとなる東京でのオリンピック開催(2020年)が決定。国際オリンピック委員会(IOC)総会での日本のスピーチが話題となりました。また、日本を象徴する富士山がユネスコの世界文化遺産に登録され、多くの観光客が現地を訪れています。

清須市におきましても、朝日遺跡の出土品2,028点が国の重要文化財に指定され、その記念展が愛知県清洲貝殻山貝塚資料館で行われました。

市政に目を向けますと、総合的な治水対策として現在建設中の芳野ポンプ場は、平成27年度末の供用開始を目指し整備を進めており、長寿命化計画に基づき堀江及び豊田川ポンプ場の耐震化も進めています。

そして、生活環境及び公共性水域の水質改善対策では、公共下水道が市内の一部で供用開始しました。今後も供用開始区域の拡大に努めていきます。

健康への取り組みとしましては、子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチンの接種を無料化し、節目年齢大腸がん検診の受診方法を拡充。さらには、アレルギー対策や食育に対応した新学校給食センターの建設を、平成26年9月の供用開始に向けて進めています。

また、公共施設の再編により、本庁方式への移行、防災機能の強化を図るため、市役所本庁舎増築・改修工事に向けた基本設計を行っています。

そのほか、清洲城が舞台となり、織田信長公亡き後の天下の行く末を決めた「清須会議」が、三谷幸喜監督により映画化され、本市では、観光振興事業として映画「清須会議」をPRし、清須の名を全国に発信しました。

さて、わが国の経済情勢につきましては、内閣府が発表した最近の月例経済報告によりますと、「景気は、緩やかに持ち直している」との基調判断を示しています。報道では、安倍政権の経済政策「アベノミクス」の効果が徐々に現れていると分析していますが、消費税率の引き上げを控え、地方では景気回復を確実に実感できる状況には至っておらず、本市におきましても依然として厳しい状況に変わりありません。

さらに少子高齢化、それに伴う労働者人口の減少、本格的な地方分権時代の到来など、地方自治体には、これまで以上に自主性や自立性を兼ね備えた市民と行政の強い連携が求められています。

この状況下、本市は市民の皆様と目標を共有し、市民と行政が協働で住みよいまちづくりに取り組み、「安全・安心 そして 快適で元気な清須」を目指します。そして、清須市第1次総合計画に掲げた政策の推進を基軸とし、治水対策を始めとした35項目の基本政策を、厳しい時代を乗り切り、未来への扉を開く決意で実行し、市の将来像である『水と歴史に織りなされた 安心・快適な環境都市』の実現に向けて、誠心誠意取り組んでいきます。

結びにあたり、皆様の市政へのご理解とご協力に感謝申し上げますとともに、今年も平和で幸多き年でありますことを祈念し、年頭のご挨拶とします。

新年のごあいさつ

清須市議会議員 石田 敏治



新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、平成26年の輝かしい新春を心も新たにお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。また、平素より市議会活動並びに市政運営に対しまして温かいご理解とご協力をいただいておりますことに心より厚くお礼申し上げます。

月日がたつのは早いもので、清須市が誕生して8年余が経過いたしました。リーマンショックに端を発した世界同時不況の影響を受け、行政運営は非常に厳しい状況が続いておりましたが、アベノミクスの成長戦略の効果か、経済は緩やかな回復基調と発表されております。

このような状況の中、まさに地方自治の真価が問われる年を迎え、限られた財源をどのような施策に充てるべきか、市議会といたしましても議員一人ひとりの責務を全うし、議会の場で議論を尽くし、将来の清須市のあるべき姿をしっかりと見定めて市政に提言していくのが私たち議員の重要な使命であると考えております。時には厳しい意見も交わしながら進んでおりますが、市と一体となって進めるべきものについては、議員一丸となって市と協力して問題解決し、市民の社会福祉の向上に寄与するよう邁進する次第であります。

市議会は執行機関の監視役としての役割を果たすためだけでなく、地方議会においても分権化の時代にふさわしい政策提言や審議機能の強化が求められ、議員にはより一層の見識と力量が必要となってまいりました。

この責務を遂行するために議員の総力を結集いたしまして、新市建設計画の将来像である「水と歴史に織りなされた安心・快適な環境都市」の実現に向け努力いたす所存であります。

頻発するゲリラ豪雨と称される集中豪雨や将来発生が予想されている南海トラフ巨大地震などの災害に備え、更なる防災力の強化を図っていかねばなりません。また、少子化、高齢化は急速に進行しており、この課題への対応にも積極的に取り組まねばなりません。

私たち議員は、これからも市民の皆様方の声に耳を傾け、社会の変化に伴い複雑化、多様化する行政需要を的確に把握し、その声を市政に反映させ、市民福祉の充実と「安全・安心、そして元気な清須」に誠心誠意取り組まねばなりません。

我々の任期も残すところ4か月となりましたが、議員一同清須市の発展のために一層の開かれた議会を目指して、主体的な判断力と自己責任をもって、市民の皆様のご期待に応えてまいります。

本年も、変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、市民の皆様のご多幸とご健勝を心からご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

新春を迎えて 愛知県知事 大村 秀章



明けましておめでとうございます。

昨年は、円高是正、デフレ脱却に向けた政策が進められる中、愛知が我が国の産業経済を牽引していくとの決意のもと、産業競争力の強化に全力で取り組んでまいりました。

今年は、こうした取り組みを一層発展させ、愛知の活力と豊かさを更に高めていくとともに、リニア中央新幹線の開業等を視野に入れた地域づくりを進めてまいります。

このため、企業立地や研究開発に対する支援、航空宇宙を始めとする次世代産業の育成・振興、規制改革の実現、モノづくり人材・グローバル人材の育成などに全力で取り組むほか、利便性の高い交通体系の形成や農業の高付加価値化、観光魅力のPR強化、女性の活躍推進、子育て支援、福祉・医療の充実、交通安全、地震防災対策、スポーツ・文化面等の魅力向上などに力を注いでまいります。

また、秋の「ESDに関するユネスコ世界会議」「技能五輪全国大会・全国アビリンピック」を成功に導き、愛知の魅力を全国・世界に発信してまいります。

これらの取り組みを通じて、「日本一元気な愛知」と豊かさを実感できる県民生活の実現を目指してまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

新年の署長挨拶 愛知県西枇杷島警察署長 高木 剛志



新年明けましておめでとうございます。

皆様には平成26年の輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、平成25年の西枇杷島警察署におきましては、地域住民の皆様が、「犯罪被害に遭わない」「交通事故に遭わない」安全で安心できる街づくりのため、「2市1町の安全・安心」を目標に掲げ、管内の治安情勢を適時分析・検討し、犯罪抑止対策、交通死亡事故抑止対策、青少年非行防止対策、災害対策など各種警察活動を推進しました。

この間、2市1町の自治体をはじめ、地域の皆様による各種団体の心強いお力添えをいただき、誠にありがとうございました。ここにあらためて感謝申し上げます。

平成26年の西枇杷島警察署におきましては、昨年に引き続き、「2市1町の安全・安心」を目標に掲げ、犯罪抑止対策、交通死亡事故抑止対策、青少年非行防止対策、災害対策など安全・安心の街づくりのため、署員一丸となり各種警察活動を進めてまいります。

昨年同様、皆様のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしく申し上げます。